



16

なかむらさんどうりょくどう 中村参道緑道

愛知県名古屋市中村区中村町

名古屋市は、本州のほぼ中央に位置する愛知県の県庁所在地であり、徳川御三家の城下町をへて近年では中部圏の産業、文化、行政の中心としての中核管理都市機能が集積している。〔文化・観光〕名古屋城、熱田神宮、名古屋市博物館、市立名古屋科学館、徳川美術館、平和公園、東山動物公園、名古屋まつり（10月中旬）

名古屋市では、やすらぎとuringおいのある道づくりをめざし、緑のネットワークづくりをすすめている。

中村参道は、中村公園と地下鉄駅を結ぶ延長五〇〇メートルの緑道であり、人と車の調和を配慮し、歩道の幅をひろげた。周辺は豊臣秀吉公や加藤清正公にゆかりの地であることから、常夜灯をイメージした車止め、格子をイメージした舗装パターン、千成瓢箪をデザインしたシンボルマーク、街道風の松の木など、各施設とも和風のイメージでまとめられている。その他、電柱、電話ボックスの美化を図るなど、随所に創意、工夫をこらしている。

また、毎年五月に「太閤祭」、毎月三回「九の市」が行われるなど、緑道を中心に多くの人々が集まり、地域住民に親しまれ、新しい名古屋の名所となっている。

